

LiSA サポーターズ外部研修等参加報告書

- 1 研修等名 「令和 6 年度 県高 P 連専門教育部会 総会」
- 2 会場 神奈川県立横須賀南高等学校
- 3 参加者 会長、校長
- 4 日時 令和 6 年 6 月 29 日（土）13：00～14：30
- 5 内容

神奈川県立高等学校 PTA 連合会 専門教育部会 令和 6 年度定期総会

開会の言葉 横須賀南高等学校 PTA 会長

県高 P 連挨拶 神奈川県立高等学校 PTA 連合会 副会長

主管校校長挨拶 横須賀南高等学校 校長

本校は横須賀明光高等学校と横須賀大楠高等学校の統合により開校した学校で横須賀明光からの福祉を特色とした福祉科と普通科を持つ学校であると挨拶された。

- 1 定数確認 専門教育部会会員 21 校

一部委任状出席となったが、殆どの学校が会場出席され、総会は成立しました。

- 2 議長選出

議長は本年度主管校の横須賀南高等学校 PTA 会長が選出された。

- 3 議案審議

令和 5 年度主管高であった小田原城北工業高等学校より以下の説明がされた。

- (1) 令和 5 年度 事業報告

内容

6 月 総会

10 月 第 52 回 専門教育部会大会（会場：横浜市庁舎アトリウム）

2 月 会計監査（令和 6 年 3 月 2 日神奈川総合産業にて監査実施。）

3 月 引継ぎ。

※専門教育部会大会内容

開催日 令和 5 年 10 月 28 日（土）

横浜市庁舎アトリウムにて開催された STEAM EXPO 2023 と同時開催

各校のブース展示と即売会やステージ公演を行い、好評を博しました。

- (2) 令和 5 年度 会計報告

収入の部

県高 P 連より事業費 100,000 円+5,000 円/校×21 校=205,000 円（予算の通り）

事業費残金返納 △53,053 円

151,947 円

支出の部

項目	予算案	決算額	差し引き	備考
案内看板等	10,000	0	10,000	
大会費	100,000	100,000	0	資料、材料費
会議費	70,000	45,787	24,213	お茶、交通費、名札代
資料費	5,000	4,620	380	総会、大会資料代、名札
通信費	5,000	0	5,000	
予備費	15,000	1,540	13,460	返金振込代
支出合計	205,000	151,947	53,053	

残額 53,053 円は高 P 連に返納金として戻されたと説明された。

会計監査報告

会計監査報告がされ、監査報告書の通り適正に処理されていると説明された。

(3) 令和 6 年度役員選出

令和 6 年度役員および会計監査について専門教育部会規約第 6 条に基づき議長より以下の案が提示され、承認された。

- 会長 横須賀南高等学校 PTA 会長
- 副会長 平塚農商高等学校 PTA 会長
- 総務 横須賀南高等学校 PTA 副会長 2 名
- 会計 横須賀南高等学校 PTA 会計
- 会計監査 小田原城北工業高等学校 PTA 会長

令和 6 年度主管校横須賀南高等学校より以下の説明がされた。

(4) 本年度事業計画案について

内容

- 6 月 定期総会
- 10 月 専門教育部会大会
- 1 月 会計監査

以上の事業を計画したと説明された。

(5) 令和 6 年度 予算案について

収入の部

県高 P 連より事業費 100,000 円+5,000 円/校×21 校=205,000 円

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減	備考
案内看板等	10,000	10,000	0	案内板等
大会費	100,000	100,000	0	横浜 STEM EXPO 参加費
会議費	70,000	70,000	0	お茶代、名札代、交通費
資料費	5,000	5,000	0	資料印刷費等
通信費	5,000	5,000	0	会員高校等への通信費
予備費	15,000	15,000	0	振込手数料、その他
支出合計	205,000	205,000	0	

以上、前年度と同様な予算案にしたと説明がされた。

審議の結果、事業計画案、予算案は全て承認されました。

その他 専門教育部会大会について

本年度専門教育部会大会は、昨年度同様に「横浜 STEAM EXPO 2024」に専門教育フェアを組入れる形での開催としたい。会場は神奈川工業高等学校での開催になると説明された。

以上をもって議案全ての審議が終了したので議長を解任し、閉会とした。

※総会后、横須賀南高等学校の計らいで福祉科の実習教室を見学しました。普通教室 2 部屋分の広さがあり、ここにベット片側 5 台が窓側列と廊下側列に並び 10 台あります。今年度からは全てのベットが電動式に置き換わり、生徒の受け入れ先に対応出来る体制が整いました。また、高齢者と乳児に模した人形があり、実際の人間の体重と同じ重さで作られていて、頭髮は付け替えが出来る、言わば「かつら」の様式で多くの生徒が洗髪練習を出来る様に工夫されている優れ物です。

生徒は人形で練習し慣れて来たら生徒同士お互いの髪を洗髪するそうです。

また、乳児の人形は沐浴の練習に使うそうです。他にも入浴実習室のほか車椅子も多彩な車種がありました。生徒の受け入れ先は、高齢者福祉施設のみならず病院等もあるため、可能な限りニーズに応えられる様にしているとのことでした。

是非皆さんも専門教育部会大会に足を運んでみて専門教育の学びを体験していただきたいと思います。

以上のとおり報告致します。

by 会長でした。